



今月のテーマ 「転倒・転落事故の判例から見る、転倒対策のポイントとは？」

医療や介護の現場では、事故の割合で高く占めているのが「転倒・転落事故」です。転倒・転落事故はいつ発生するか分からず常に注意する必要があり、病院や施設は患者や入居者が使用する器具設備や施設の安全性を確保することが求められます。万が一転倒事故が起きてしまった場合に備えて、訴訟に至ったケースをもとにどのような対策が必要か、また、メーカーとしてどう支援できるかをまとめました。

場所：病院

患者：72歳女性

患者の状態：多発性脳梗塞で入院、上下肢麻痺があり

事故の状況：患者が午前6時頃、トイレに行く際は担当看護師は介添えしたが、利用者が大丈夫というので帰りは介添えしなかったところ、6時30分頃、トイレの帰りに病室のベッド付近で転倒、後頭部を強打し4日後、急性硬膜下血腫により死亡

判決内容：入院先の病院では患者がトイレに行く際には看護師が必ず介添えすることになっており、本件でも、利用者がトイレに行き来する際には必ず付き添い、転倒事故を防止する義務があったとして病院側に慰謝料の支払いを命じました

東京地裁平成15年9月29日判決

ポイント 病院・施設責任とは？

患者の状態から予想される危険把握と措置

病院・施設が予想される事故防止の為に手段を尽くしていたか、責任の有無が判断されます。

事故防止の為に病院・施設側で最大限できることを行うことが必要であり、患者の状況や症状を把握し、それに応じた適切な措置や介助がされなければなりません。

例えば…



施設面で安全は確保されていたか？

病院や施設では、設備の安全性を確保することが最大の対策となります。

- ①器具や施設の安全性を確保すること
- ②器具の安全性の確認や定期点検
- ③危ないと思ったら放置せずに修理や新品に取り換える

例えば…



ポイント テクノスジャパンができること

1 現場ラウンドの開催

居室をラウンド、離床センサーが破損していないか、正しく使えているかの確認をおこないます。



2 ワークショップとセミナーの開催

ワークショップや、医療安全セミナーで正しい機器の選定や運用を案内します。



3 メールマガジン「テクノス通信」の配信

転倒・転落対策に特化した情報を1か月に一度メールにて配信しています。



4 お客様相談室

製品の設定や使用方法については、お客様相談室で随時、受け付けております。

